

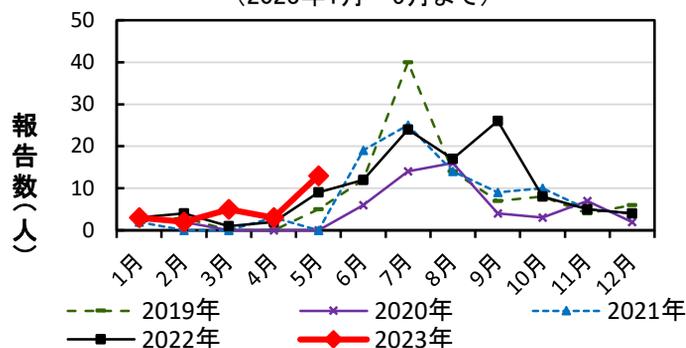
腸管出血性大腸菌感染症 に注意しましょう!



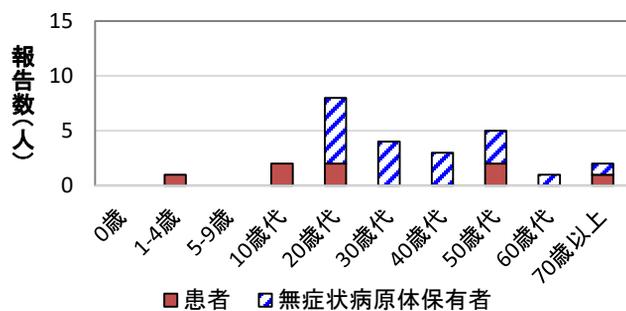
◆ 群馬県の流行状況

2023年は5月までに26件の報告がありました。(昨年同時期: 19件)
例年、気温の高い初夏から秋にかけて多く報告されています。

腸管出血性大腸菌感染症 経年報告数
(2023年1月～5月まで)



年齢群・診断別 報告数(2023年1月～5月まで)



◆ どんな病気?

毒素を産生する腸管出血性大腸菌 (O157など) によって引き起こされる感染症です。
少ない菌量でも感染し発症するため、家族や集団生活の中で感染が拡大することがあります。
抵抗力の弱い**高齢者**や**乳幼児**が感染すると、**重症化することもあります。**

- ・感染経路: 経口感染 (汚染された飲食物を口にしたり、患者の便を介してすることで感染。
無症状者から他人へ感染させてしまうこともある)
- ・潜伏期間: 多くは3~5日
- ・症状: 下痢、腹痛、血便、発熱

◆ 予防するには?

- ・石けんと流水による**手洗い**を徹底する。
- ・**生野菜**はよく洗って食べる。
- ・箸やまな板などは、**生肉用と生肉以外用とで使い分ける**ようにする。
- ・肉の生食は避け、中心が白くなるまで**十分に加熱調理 (75度で1分以上)**して食べる。
- ・調理器具の**洗浄と消毒**をしっかり行う。



◆ 感染を広げないために

- ・下痢や腹痛などの**症状がある人は、速やかに医療機関を受診**する。
- ・症状のある人は**家族と一緒に入浴せず、最後に入る**。シャワーやかけ湯がよいが浴槽に入る場合は石けんで体を洗ってから入り、入浴後は水を抜いて浴槽を洗う。
- ・症状のある人の下着は、**塩素系漂白剤でつけ置き消毒**し、家族のものとは分けて洗濯し、洗濯後は、ゴミ取りネットの掃除を忘れずに行う。
- ・**トイレやおむつ交換のあとは必ず手を洗う**。



★ 腸管出血性大腸菌感染症についての詳しい情報: <https://www.pref.gunma.jp/page/3310.html>

*この情報に関するお問い合わせ先: 群馬県感染制御センター (群馬県衛生環境研究所)

TEL: 027-232-4881

E-mail: kansenseigyoc@pref.gunma.lg.jp